

にのみや学園通信

今年度の「にのみや学園 小中交流会」が3回実施されました。

にのみや学園のプロジェクトとして年3回行われた「小中交流会」。このプロジェクトは、小学校高学年の子どもたちが学区の中学校の授業を参観したり、部活動を見学・体験したりすることで、安心感をもって滑らかに中学校に進学することをねらいとしています。



1回目(9月25日)は、小学校の先生が引率・先導し、最初に1年生から3年生までのすべての授業の様子を参観しました。その後、生徒会による中学校の生活や中学生の休日の過ごし方などについて体育館で説明を聞きました。最後に、ツアー形式で部活動におい



て懸命に練習に励んだり、作業に集中して取り組んだりする中学生の姿を見学しました。



参加した児童たちからは、

「中学生は落ち着いて授業を受けていてすごい。」「数学や英語など、小6から一気にレベルが上がっていると思った。」「〇〇部に入ろうと思っていたけれど、他の部活もいいなと思った。」「他の学年なのに仲がいいんだなと思った。」といった感想を聞くことができました。児童たちは、今回の1回目の交流会を通して、まずは、授業や部活動における中学生の様子を知ることができたようです。



2回目(10月28日)は、中学3年生が総合的な学習の時間で取り組んだ内容について発表の様子を参観しました。参加した児童たちは、「中学3年生の文章のまとめ方や、スライドに書いていないことの説明、それに先生からの質問に的確に答えていてすごいと思いました。」「グループで考えたことをしっかりと共有しないと、あんなに質問に対して答えたりできないと思う。人間関係もしっかり深めていきたいと思った。」といった感想を述べていました。児童たちは、中学校の学習内容にふれたり、授業への見通しを持ったり、また発表内容を中学生と一緒に考えたりと、中学校の授業に対するイ

メージを少なからず持つことができたようです。



そして3回目(2月20日)は、部活動の体験でした。はじめは緊張した面持ちで体験に臨んでいた小学生ですが、中学生に、ていねいに教えてもらううちに、時おり笑顔を見せ、楽しそうに取り組む姿を見せるようになりました。



参加した185名の児童のうち 97.8%が「楽しかった」と評価し、92.9%が「中学校が楽しみになった」と回答するなど、非常に高い満足度を示す結果となりました。自由記述でも「先輩が優しくかった。」「安心した。」「部活に入りたくなった。」という声が多数を占め、中学校への不安解消・進学意欲の向上に大きく貢献したことがうかがえました。

今年度の3回の交流会を通して、にのみや学園の小学校6年生が中学校への希望や期待をさらにふくらませ、4月6日の入学式を迎えられることを祈念しています。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

